

参加
無料



「『食』を通じた地域の見守り機能強化事業」

中国地方研修会

本研修会では、地域における「食」に関する活動を通じて、要支援児童やその家庭への見守り体制の構築に寄与することを目的としています。こども食堂や地域食堂等活動団体の取り組む実践事例を通して、支援のあり方や子どもたちが安心して過ごせる場をどう育むかそのヒントを、現場の声や取り組みから探ります。食支援活動団体、企業、行政など様々皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

日時

2025年

10月26日 日
13:00-16:00

開催

会場：鳥取市役所市民交流センター
2階 多目的室

〒680-0823鳥取県鳥取市幸町71番地)

オンライン：zoom



基調講演

野々村 光子氏

東近江圏域働き・暮らし
応援センターTekito - ”
(棒芯：相談統括)

自宅が母親が始めた作業所という偏った環境で育つ。幼児教育の世界で活躍が約束されていたにも関わらず、あるひとりの精神に障害のある大人との出会いから、働くコトを応援するこの世界に入る。

6年間の通所授産施設を経て、京都労働局にて4年間就労支援に従事。2008年現センターを立ち上げ現在に至る。『人・働き・金・愛』が循環する地域を目指して色んなもんを発信中。

10月25日（土）フィールドワーク開催!!

- ①まごころ食堂様
- ②鳥取市中央人権福祉センター様
- ③こどもとちいきの食堂なしのみ様

※詳細は、下記のHPよりご確認ください。
<https://mow.jp/cn1/2025-09-30.html>

お申込みは予約フォームから

申込〆切：10/22（水）



<https://forms.gle/igU1g4KQfPWRp18Z9>

第1部

開会の挨拶

基調講演・基調提起

- ①基調講演：鳥取市の見守り体制について
鳥取市中央人権福祉センター 総括主査 川口 寿弘氏
- ②基調提起：
東近江圏域働き・暮らし応援センター “Tekito - ”
(棒芯：相談統括) 野々村 光子氏

第2部

中国地方の見守り事例報告

- ①おちあいこども食堂ネットワーク (岡山県真庭市)
松岡 祥和氏、妹尾 直之氏
- ②おなかま食堂 (島根県出雲市)
西尾 愛氏、柳樂 昭子氏
- ③こども・若者食堂 (鳥取県鳥取市)
原田 伸吾氏

QRコードから、
事例報告団体の
活動内容をご覧いただけます！
ぜひチェックして
みてください。



おなかま食堂



こども・若者食堂

第3部

パネルトーク

テーマ：家族機能の社会化
ファシリテーター：田中氏
パネリスト：野々村氏、川口氏、長迫氏、平野

情報交換会・質疑応答

子どもの見守り施策についての情報提供

こども家庭庁 支援局 虐待防止対策課 調整係長 福井 充氏

閉会の挨拶・事務連絡



03-5426-2547



saposen@mow.jp

一般社団法人全国食支援活動協力会 (関谷・倉方)
(受付：月～金 9:00～17:00)

令和7年度見守り体制強化促進のための広報啓発事業